

第3の世界遺産候補

原爆被災遺産・唐蘭貿易交流遺跡・仏教寺院・墓地 etc

◆日時：2019年**5月18日**(土) **13:30**開演～15:30終演

◆会場：浦上キリシタン資料館 コミュニティースペース

長崎には「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の2つの世界遺産があるが、両資産は極めて深い関係にある。また、この両資産以外にも第3の世界遺産の候補とも言えるものがいくつかある。負の遺産である「原爆被災遺産」。唐寺、唐人屋敷、新地蔵、出島などの「唐蘭貿易交流遺跡」。そして長崎市中央部周辺山麓に連続立地する宗派の異なる「仏教寺院・墓地」などである。これら貴重な文化財(群)は、世界遺産に登録する、しないに関わらず大切に保存・修復・整備して後世にしっかり残したいものである。



◆宮川 雅一(みやがわ・まさかず)

昭和9年(1934)長崎市の老舗の酒類・食料品店に生まれる。勝山国民学校・新制長崎中学校・長崎東高等学校卒。昭和32年(1957)東大法学部卒業後、自治庁(現・総務省)に入る。以来、自治省(現・総務省)・大蔵省(現・財務省)・公営企業金融公庫(現・地方公共団体金融機構)・福岡・滋賀・愛媛・香川各県庁に勤務。昭和54年(1979)(財)日本都市センター研究室長から長崎市助役に就任。昭和61年(1986)助役を退職し、長崎都市経営研究所を設立。現在、長崎史談会会長を経て同理事、長崎釈尊鑽仰会会長、長崎近代化遺産研究会会長、唐寺研究会代表幹事、長崎聖福寺修復協力会世話人代表、長崎ちびっ子くんち実行委員会会長、出雲大社長崎分院・松森天満宮・伊勢宮の各責任役員など。著書に「長崎散策(歌碑・句碑めぐり)」シリーズ、「宮川雅一の郷土史 岡目八目」「高島秋帆」ほか。

◆参加料：500円

◆定員：50名

◆申し込み：浦上キリシタン資料館宛に電話・ファックス・メールでお申し込みください。

◆主催： アジェンダNOVAながさき

浦上キリシタン資料館

開館時間：10:00-17:00 休館日：月曜日(但し月曜が祭日の時はその翌日)

〒852-8116 長崎市平和町11-19

Tel&Fax 095-807-5646 E-mail: urakamicm@mxm.cncm.ne.jp

■長崎電鉄「平和公園」停留所徒歩5分 ■県営バス「浦上天主堂前」徒歩1分